

家庭学習のてびき 2

～すすんで学ぶ子どもになるために～

三原市教育委員会

1 どんな家庭学習の方法があるの？

- | | |
|------------------|--------------------|
| (1) クイズ出し (検索練習) | (4) つなげワザ (精緻化) |
| (2) 小分け作戦 (分散学習) | (5) たとえば作戦 (具体的例示) |
| (3) ひとり先生 (自己説明) | (6) イラスト暗記 (二重符号化) |

参考文献「認知心理学者が教える最適の学習法ビジュアルガイドブック」東京書籍

(1) クイズ出し (検索練習)

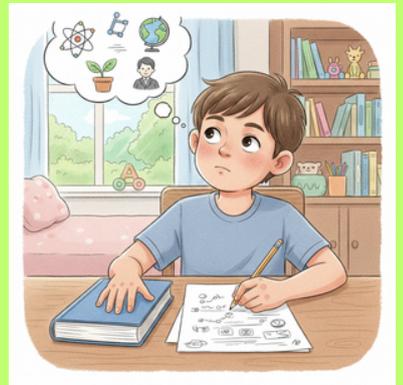
教科書を「読む」より、自分に「クイズ」を出す技です。
読むことより、思い出そうとすることが記憶を定着させます。

お子さんは、用語を覚えようとしています。

お子さんは、覚えたい用語を手で隠して「これなんだっけ？」と自分に問いかけ、思い出す練習をします。

お子さんは、今日学習したことを復習しようとしています。

お子さんは、教科書を閉じて、今日学習したことを白紙ノートに書き出します。自力で思い出して書くことで脳への刺激になります。思い出せなかったものは分からない部分です。授業ノートで確認しましょう。



(2) 小分け作戦 (分散学習)

テスト前にまとめてするのではなく、日を分けて少しずつ取り組む技です。
一夜漬けより、間隔をあけて少しずつ学習する方が、長期記憶に残りやすいです。

お子さんは、テストに向けて計算練習に取り組みます。

お子さんは、「今日は5問、明日は5問、数日後に5問」のように、時間を空けて練習します。
脳は「何度も出会う情報」を大事なものと判断します。



(3) ひとり先生 (自己説明)

自分が先生になって、だれかに教える技です。
他人に説明しようとする時、自分の理解の曖昧な部分が浮き彫りになります。

お子さんが、学校で、算数の文章題を学習しました。

お子さんは、家族に向かって、「ここを●●することがポイントだよ」等と説明します。うまく言えたところは「よく分かっている」ところ、うまく言えなかったところは、「まだよく分かっていない」ところです。



(4) つなげワザ (精緻化)

新しい知識を、自分の知っていることと「合体」させる技です。

お子さんが、学校で新しく「てこの原理」を習いました。

お子さんは、家にある「ハサミや爪切りと同じだ!」と気づきました。

お子さんが、学校で「働(はたら)く」という漢字を習いました。
お子さんは、この漢字を覚えるために、このような話を考えました。

「働」の字は、「イ(にんべん=人)」+「重」+「力」だから、
意味をつなげて、「人が重い荷物を力を合わせて運んでいる」と考えました



(5) たとえば作戦 (具体的例示)

難しい言葉を聞いたら、「それって、身近なもので言うと何のこと?」と具体例を考える技です。抽象的な難しい概念を、具体的な例に置き換えて理解します。

お子さんは、「絶滅危惧種(ぜつめつきぐしゅ)」という言葉を知りました。

お子さんは、「絶滅危惧種」という言葉とあわせ、「イリオモテヤマネコとか、ラッコのことだね」と、具体的な名前をセットで覚えます。

お子さんは、算数「単位量あたりの大きさ」を勉強します。

お子さんは、「10人が広い体育館にいるときと、狭いエレベーターの中にいるとき、どっちがギューギューかな?」と考えてみました。



(6) イラスト暗記 (二重符号化)

言葉と一緒に「絵」を描いて覚える技です。

お子さんは、英語の「Apple」を覚えようとしています。

お子さんは、英語の「Apple」の単語の横にりんごの絵を描いています。

お子さんは、理科「植物の育ち方」で「子葉(しよう)」や「本葉(ほんば)」という言葉を知ようとしています。

お子さんは、植物の成長の様子をスケッチして、その横に言葉を書いて覚えます。

お子さんは、社会で「扇状地(せんじょうち)」や「三角州(さんかくす)」等の地形の名前を知ようとしています。

お子さんは、地形の特徴を絵に描いて、名前と一緒に覚えます。



参考文献 ヤナ・ワインスタイン、メーガン・スメラック、オリバー・カヴィグリオリ (2022)
「認知心理学者が教える最適な学習法ビジュアルガイドブック」東京書籍

2 どうやってするの?

親子で家庭学習について話してみよう。

イラストが入っていて、覚えやすいね。
おかあさんにも教えてくれる?

自主学習で、勉強した内容をまとめてみたらどうかな。
後で、おとうさんに説明してもらいたいな。

お子さんが学校の勉強をどのくらい理解しているか知ることができます。

